

台風18号の影響による出水対応について

H27. 9. 9 13時撮影



H27. 9. 10 13時撮影



H27. 9. 11 13時撮影



平成27年9月7日未明、日本の南の海上で、台風18号が発生しました。その後、8日午前10時頃、愛知県知多半島に上陸した後、東海～北陸地方を縦断して日本海に抜け、9日午後9時に温帯低気圧に変わりました。関東直撃は免れましたが、台風17号からの湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定になり、南から帯状に発達した雨雲が停滞した結果、局地的な集中豪雨や、記録的な大雨をもたらしました。

(松戸観測所：累加雨量328mm)

平成27年9月9日(水)早朝から松戸出張所では洪水警戒体制に入り出水(洪水)対応を実施しました。

9月14日(月)早朝までの主な対応状況は以下のとおりです。

- ・平成27年9月9日(水)05時00分：松戸水門閉操作
松戸出張所洪水警戒体制に入る
- ・平成27年9月9日(水)06時から9月14日(月)08時までの松戸排水機場のポンプ断続(間欠)運転の実績
1号機：2,151,000m³(ポンプアップ-ル約860杯分)
2号機：588,000m³(ポンプアップ-ル約235杯分)
3号機：1,353,000m³(ポンプアップ-ル約541杯分)
合計：4,092,000m³(ポンプアップ-ル約1,637杯分)
※ポンプアップ-ルの大きさは、長さ50m 幅25m 深さ2m

・今後も、来る出水(洪水)に備えて、松戸出張所一丸となって、万全を期すよう努めて参ります。

松戸市内の坂川、新坂川及び六間川等の内水排除を目的とした古ヶ崎排水機場においても、出水(洪水)対応を実施しました。なお、主な対応状況は以下のとおりです。

- ・平成27年9月9日(水)～9月14日(月)
古ヶ崎排水機場のポンプ断続(間欠)運転
1号機：668,250m³(ポンプアップ-ル約267杯分)
2号機：717,750m³(ポンプアップ-ル約287杯分)
合計：1,386,000m³(ポンプアップ-ル約554杯分)



不法係留船の実態調査等について



今年度も、河川法の許可を受けず係留している船舶の実態把握を目的として、平成27年9月4日(金)松戸出張所管内(上流端江戸川左岸34k地点(利根運河合流点下流)から、下流端江戸川左岸15.5k地点(柳原水門))の不法係留船調査を実施しました。

今年4月1日の河川法施行令改正によりプレジャーボートの適正管理を推進するために、放置艇に関する禁止・罰則規定が設けられました。今回の実態調査では、不法係留船舶に警告ステッカー(右図)及び罰則規定ステッカーを職員が添付してきました。

告

河川に無許可で棧橋等の工作物を設置することや船舶を係留する行為は、河川法に違反し河川管理上支障となりますので、工作物は速やかに撤去し、船舶は河川外やマリナーナ等へ移動してください。

平成27年 9月 4日

国土交通省江戸川河川事務所

松戸出張所

047(343)3722

占用調整課

04(7125)7320

管内の堤防点検(台風期)について

本格的な台風シーズン前の堤防点検(状況の把握)において堤防の現状を職員が詳細に把握し、維持補修が必要な箇所を抽出するとともに、堤防点検により職員の堤防評価の技術的能力を養うことを目的として実施するものです。点検方法は、堤防・河川管理施設(堰・水門、樋門・樋管等)を5~6人/班により、徒歩で目視により巡視・点検・とりまとめを実施するものです。

松戸出張所では、江戸川本川上流域を9月1日(火)江戸川本川下流域を9月8日(火)に実施し、坂川左右岸(坂川放水路を含む)を9月18日(金)実施する予定です。

これまでに実施した江戸川本川上下流域において、維持補修が必要な箇所は新たに発見されませんでした。なお、今後は、出水の際に実施する場合があります。



写真館



あとかき

左の写真は、平成27年8月22日に行われた第39回流山花火大会において、松戸出張所管内の工事関係者(株)ケージーエム、金杉建設(株)、名倉建設(株)三社が、地域貢献の一環として運営のお手伝いをしたことで、流山花火大会実行委員会から感謝状を頂きました。主水だより(第24号)編集:T.S